

対象国の条件 : 原則アジア太平洋地域の開発途上国、その他地域からも可能な限り受入れ

研修コース番号 : J1804180

案件番号 : 1884512

主分野課題 : ガバナンス/統計

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

国際的に合意された統計基準、フレームワーク及び方法論に関する研修による、持続可能な開発指標に係る基本的な統計を作成するための国家統計システムの組織能力を構築する。研修コースはまた、直近のグッドプラクティスを紹介し、国レベルの統計ビジネスプロセスの近代化に、どのように適用させるかについて学ぶ。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 持続可能な開発目標及び国家開発の測定のモニタリングに必要な統計データ要件作成のための、研修参加者の国家統計システム構築能力が向上される。</p> <p>【成果】 1. 人口、社会、経済及び環境の公的統計コアセットの作成及び分析への適用における、国際的に推奨される基準、フレームワーク及びグッドプラクティスに関する知識及び理解が向上される。 2. 開発アジェンダの目標、ターゲット及び指標に関する知識及び理解が深められる。 3. 品質の高いデータ及び基本統計の作成において、基本的な統計理論及び手法を適用する統計コンピューティング及びコミュニケーションの基礎的スキルが向上される。 4. 標本調査実施及び、標本調査データによる開発指標の作成及び分析に関する能力が向上される。 5. 統計結果を効果的に提示する説明に適用するためのコミュニケーション及びプレゼンテーションスキルが向上される。</p>	<p>【対象組織】 国家統計部局；公的統計に係るデータ収集、作成及び利用に携わる国家政府機関</p> <p>【対象人材】 上述の対象組織において少なくとも5年の勤務経験を有する初中級レベルの統計職員</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>< 講義及び実習 > 1. 公的統計の基礎：基準、フレームワーク及び手法 2. 開発アジェンダの目標、ターゲット及び指標のフレームワーク 3. 公的統計の作成、分析及びプレゼンテーションに係る統計理論及び手法 4. 近代化された統計組織における質の高いデータ及び公的統計の作成、分析及び普及のための手法及びツール 5. 統計コアセットのための統計的ビジネスモデル：人口、社会、経済及び環境 6. 公的統計専門家のコアバリュー及び能力：公的統計の基本原則</p>	<p>本邦研修期間</p> <p>2018/8/14～2018/12/15</p>	
	<p>担当課題部</p>	<p>産業開発・公共政策部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA東京（産業公共）</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>総務省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2016～2018</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>国連アジア太平洋統計研修所(UNSIAP)</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>	<p>本研修は、JICA/SIAPの共催により実施される。(SIAP URL) http://www.unsiap.or.jp/</p>	